

## 2015 年度 広域避難者地域活動サポート助成制度 助成団体一覧

助成 番号	都県名	団体名	団体概要
1	埼玉	東日本大震災に咲く会 ひまわり	上尾市にある県営団地「上尾シラコバト住宅」に暮らす避難当事者の団体。2011年4月の団体設立以来、毎月1回集会所で避難者間の情報交換や避難者と地域住民の交流の場を設けている。
2	東京	サロン FMI会	主に町田市で暮らす福島(F)・宮城(M)・岩手(I)からの避難当事者の団体、2013年7月設立。避難先での高齢者の孤立化防止や親子で参加できるイベントの企画・運営を行う。
3	茨城	ルピナスの会	福島県から茨城県南地域に避難しているの方々によって2012年2月に設立。福島県からつくば市派遣されている小学校教員や、小学校とPTAの協力を得て、避難者間・地域住民との交流会を開催。
4	神奈川	どんぐりの会	神奈川県内避難者の団体、2012年2月設立。かながわ県民センターを拠点として月2回、趣味を活かしたものづくりなどを通じて、避難者間の交流を図りつながり作りを行う。
5	埼玉	越谷避難者の会	主に越谷市で暮らす避難当事者の団体、2014年10月設立。毎月1回の定例交流会のほか、季節に応じたイベントを企画・運営し、避難者間の情報交換や交流の場づくりをしている。
6	東京	青空会	新宿区にある都営戸山団地に暮らす避難当事者の団体、2012年8月設立。区内避難者数が300名を超えているが避難者間交流が少なく、地域からも孤立しがちな避難者をつなぐため月1～2回、交流サロンを開催。
7	東京	白鷺キッズプロジェクト	福島県からの避難母子が中心となり、情報交換とネットワークづくりを目的に2013年6月に設立。子どもの学習支援や保養のためのリフレッシュプログラムなどを実施している。
8	東京	足立区ふるさと会	福島県強制避難区域からの避難者と避難者の親族で活動する団体、2011年11月設立。毎月2回のお茶会や2、3ヶ月に1度の料理教室などをしながら、避難者間交流を図る。
9	千葉	千葉の暮らしを 楽しみ隊	支援団体「わかばお茶っこしよう会」主催の交流会を通して知り合った避難当事者が避難先である千葉で暮らすのに必要な情報の交換や交流のために2014年4月に団体を設立、イベントの企画・運営を行う。
10	東京	東京ふれあい双葉会	福島県双葉町から都内へ避難している人たちが双葉町復興支援員の支援によって、2015年8月に設立。都内ならびに近郊に避難している双葉町民同士の交流を目的に活動している。
11	埼玉	双葉町新元気農園	福島県双葉町から加須市に避難している人たちが、震災前のように畑仕事をしたいと避難先から畑を借りて活動。2013年12月設立。畑仕事を通じて避難当事者間の交流を深め、収穫物は避難者や地域の方へ配布や販売するほか、交流会の材料として活用。
12	東京	中福子ども会	中野区の鷲宮都営住宅で暮らす避難者と団地の自治会によって2012年3月に設立。「中福の会」から特に子どものいる世帯を中心に活動している。避難親子の参加型イベントの企画運営を行っている。

助成 番号	都県名	団体名	団体概要
13	神奈川	かながわ東北ふるさと・ つなぐ会	神奈川県内避難当事者による避難者間、避難者と支援者の交流の場づくりのため、2015年5月に団体設立。月1回のお茶会を定例開催しながら、4,000人とされる県内避難者への参加よびかけを継続して行う。
14	埼玉	NPO法人 全国福島県人友の会	福島県からの避難者による避難者を支援するための団体、2015年1月にNPO法人を設立。定期的なサロンの開催と会報の月次発行など避難当事者と地域の福島県人との交流や、震災経験を活かした防災の取り組みを行う。
15	東京	むさしのスマイル	武蔵野市にある都営アパートに福島県から自主避難している母子を中心に、避難当事者間、避難者と地域住民の交流を図ることを目的に、2011年9月に設立。月1回のサロンの運営と、不定期に近隣市町の避難者との広域交流会の開催や、自主避難している母親向けの冊子の作成などを行う。
16	千葉	東葛地域避難者の 集う会	千葉県東葛地域と隣接する埼玉県三郷市に避難している当事者によって2014年11月に設立。避難者間、避難者と地域住民との交流のほか、弁護士による賠償問題の勉強会などの活動を実施している。
17	山梨	フレンチ・ブルドッグの 会	主に山梨県中央市に避難している人が中心となり2015年6月に設立。地元のレストラン「フレンチ・ブルドッグ」が場所と農園を無償提供し、農業体験と交流会を通して避難者間交流を行う。
18	東京	成増団地自治会 コスモス会	板橋区にある都営の成増団地に避難している人たちを団地の自治会が支援して2011年6月に設立。毎月開催される茶話会のほか、絵手紙などの余暇活動を通じて団地住民との交流を図っている。
19	千葉	松戸・東北交流サロン 「黄色いハンカチ」利用 者の会「菜の花」	千葉県東葛地域に避難している方の支援の場として開設された松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」に集う避難当事者間交流を目的に2014年4月に設立。サロン運営、地域住民との交流や震災体験を伝える活動を行っている。
20	千葉	森のじかんを 実行する会	千葉県山武市が復興支援事業で協力する避難者と支援者の交流の場「森のじかん」の自立した運営を行うため、2014年3月に団体設立。月1回お茶会や交流会を開催している。
21	千葉	ともにいきる会	避難当事者による避難者支援を行うために2015年7月に団体設立。お茶飲み会や食事会による交流、小物作りと販売などを通じて、被災者の生き甲斐を見出す場づくりを行う。
22	東京	町屋6丁目ミニサロン	荒川区社会福祉協議会の支援により、都営町屋6丁目アパートに暮らす避難当事者が集うミニサロンを運営するため、2012年3月に設立。自治会やボランティア団体とともにサロンを開催している。
23	栃木	鹿沼地区 福島震災会	主に栃木県鹿沼市に暮らす福島県からの避難当事者が中心となり2011年7月に団体設立。避難者間、地域住民との交流や情報交換、他の避難者グループとの交流などを行う。
24	東京	「みちのくまほろば会」 コスモス部会	避難当事者自身が東日本大震災を風化させない活動を行うため、2013年4月に設立した「みちのくまほろば会」の部会として発足。震災体験の講話会や被災地の写真展の実施、DVDの制作と上映会などを行う。

助成 番号	都県名	団体名	団体概要
25	千葉	なじよしてる	福島県浪江町復興支援員の呼びかけにより、福島県からの避難当事者でつくる団体、2014年10月に設立。避難先への定住を検討する避難者間のつながりを維持するため、交流を深めている。『なじよしてる』は福島の方言で、『どうしてる?』の意味。
26	東京	Nicomamaの会	震災と原発事故の影響により母子避難している母親が、避難先で安心して暮らせるよう母親同士のつながり作りを目的に2015年4月に設立。交流会や情報交換会、子どもの学習支援や保養プログラムを実施。
27	千葉	なの花会	館山市の支援により毎月開催しているお茶会に参加している避難当事者が、避難当時者の交流を深める活動を行うため、2014年2月に団体設立。定例的なお茶会以外のイベントの企画や運営を行う。
28	茨城	すまいるカフェつくば	つくば市近隣に暮らす福島県からの避難当時者の交流と情報交換、精神的支え合いを目的に2015年10月に設立。県外に避難していてもふるさとである福島を思い、毎月1回の交流会を継続開催する。
29	千葉	千葉ひまわり双葉の会	千葉県周辺に避難している福島県双葉町民の交流を目的として、双葉町復興支援員の呼びかけにより2015年11月に設立。双葉町民が交流する場として交流会や食事会を企画、運営していく。
30	千葉	自主避難を語り合う会	千葉県東葛地域に避難している方の支援の場として開設された松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」に集う自主避難者により2014年4月に設立。他県の自主避難者グループとの交流を通じて情報交換を行う。
31	東京	ボランティアカフェ	双葉町からの避難当事者による避難者支援を行うため2012年10月に団体設立。月1回の交流会開催のほか、避難者同士支え合う避難者ケアの実践のための勉強会も開催。